

令和5年度第1号会報発行にあたり

全国の防災エキスパート会員の皆さま、日々の活動お疲れ様です。また本会報をお読みいただいている皆さま、防災エキスパート活動へのご理解とご協力に感謝いたします。

今号は、東日本高速道路㈱北海道支社 道路事業部
部長の林さまにメッセージを頂きましたのでご一読下さい。
(事務局本部)

想定外をつぶす「想像力」と「チーム力」

東日本高速道路株式会社
北海道支社 道路事業部
部長 林 正幸

防災エキスパート会員並びに関係者の皆様には、日頃より高速道路事業へのご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。3年以上に渡った新型コロナウイルス対応も、ようやく感染法上の分類が5類に引き下げられ、これからは、想像を超えた事態に対応してきたこの経験を今後の業務執行に生かしていく段階になりました。

自身の出身地であり現在勤務している北海道は、本州に比べれば甚大な被害をもたらす台風や大地震等は、比較的少ないと思っていました。しかし近年は、北海道で初めて震度7を観測した胆振東部地震や、平成28年の十勝地方を襲った台風被害、台風以外でも線状降水帯による大雨や暴風、冬季になれば毎年のように「1日の積雪量」が過去最大を更新するといった、これまでの経験では考えられないような災害が北海道でも頻繁に発生している実感があります。

しかし、北海道は、このような大きな地震や想定を超える集中的な豪雨のような災害に対応できる人員や組織が充分とは言えません。また、四方を海に囲まれ広大な地域を抱えているため、初動対応は応援も含め非常に時間がかかってしまう恐れもあります。

常時、そのような大災害に対応できる人員や資材を各地域に事前に準備しておくことは現実的には困難です。それを補うためには、平時に机上ではありますが、想定を超えるような大災害の被害状況、情報収集・連絡体制の確立、応急復旧までの初動対応等を具体的かつ詳細にイメージできる「想像力」が、これまで以上に求められてきていると思います。防災エキスパートの皆様や数多くの災害に対して

きた諸先輩方の知識と経験も加え、それを文字化し、関係する全員で共有し、訓練を重ねて、今後きっと発生するであろう大災害を、想定範囲内といえるようなシミュレーション力を支社、事務所とも磨いていきたいと思っています。



また、北海道から東北にかけて甚大な被害が想定される日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震では、太平洋側の道内の主要港も恐らく津波により甚大な被害を受けており、応援資機材や物資、人員を被災地に速やかに送れる陸路の確保は最優先事項になると考えられます。高速道路がその中心となることは間違いありませんが、ネクスグループだけでの対応では極めて困難で、組織の枠を超え官民一体となって利用可能なすべての人員、資材を集中的に活用できる体制を速やかに構築する必要があります。日頃より国や北海道、民間業界等と良好な関係を築き、オール北海道としての総合的な「チーム力」を発揮できるよう平時より準備をしていきます。

想定を大幅に超える大災害には、これまでの経験と人員だけでは対応できません。日頃より、想定外をも想定内として考え、関係機関と対応を議論し信頼関係を構築し、自組織だけでなく地域全体で大災害を乗り越えていくという共通認識が、想定を上回るような災害を乗り越えられる防災対応力につながると考えています。引き続き会員並びに関係者の皆様には、ご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

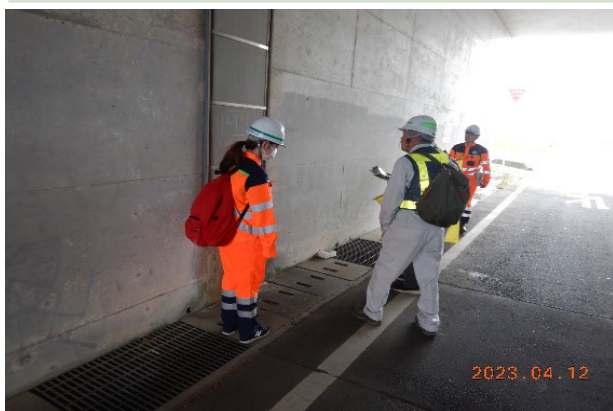
報告

支部活動状況（1/2）

令和5年3月～5月に報告があった支部の活動状況について情報共有します。

東北支部

活動名	基本点検
実施日	令和5年4月12日（水）
場所	東北支社 仙台東管理事務所
【内容】 基本点検への参加 仙台東部道路の若林JCT～仙台東ICの上下線（総延長約10km）の路面排水路、のり面、橋梁、C-BOXの基本点検をNEXCO職員やメンテ会社、エンジ会社の職員とともに実施。 点検の結果、C-BOXの目地部分の開きや段差が多く見られたが、大部分の目地は漏水防止措置がなされており、緊急を要する損傷は見られなかった。また、縦溝排水路のコンクリートシールが破損している個所は土砂詰まりが多く見られ、早めの対策が望まれます。また、法尻部のコンクリートブロックの目地の開きが多少見られたが、はらみ等は見られず、緊急を要するものはなかった。 【参加者】一般会員2名	



関東支部

活動名	基本点検
実施日	令和5年4月17日
場所	関東支社 宇都宮管理事務所
【内容】 基本点検への参加 区間：北関東道 真岡IC～桜川筑西IC 【参加者】一般会員：1名	

名古屋・金沢支部

活動名	名古屋・金沢支部会議
実施日	令和5年3月6日（月）
場所	石川県地場産業振興センター
【内容】 ・防災エキスパート全国の活動状況報告 ・防災に関する特別講演 演台：「近年の自然災害とその備え」 ・支部の活動報告及び次年度計画について 【参加者】 ・一般会員18名 グループ会員12名	

九州支部

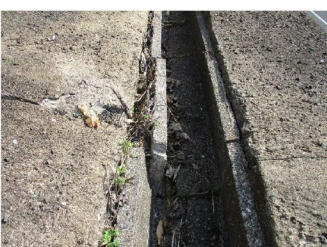
活動名	基本点検
実施日	令和5年3月8、9、10、13、14日(5日間)
場所	九州支社北九州、長崎、熊本、高速道路事務所
【内容】	令和5年度出水期前基本点検への参加
【参加者】	一般会員：2名、グループ会員：5名



コンクリート吹付けひび割れ部よりの湧水状況



Gr基礎部洗堀状況



遮音壁破損



遮音壁隙間

第一小段排水樹、排水溝損傷状況

活動名	九州地区防災講演会
実施日	令和5年5月25日(木)
場所	福岡市立 中央市民センター 大ホール
【内容】	・「災いから得るもの」 ・「災害対応の要諦～ゆっくり急げ～」
【参加者】	一般会員：14名、グループ会員：31名



講演状況

高速道路調査会が事務局本部を運営する防災エキスパート制度では、①制度に関する情報共有や②運営に関する改善を目的として、「運営連絡会」と「運営幹事会」を毎年度開催しています。

令和4年度の実施状況について報告し、活動方針、令和5年度の計画が決定しましたので概要を報告します。

防災エキスパート運営連絡会・運営幹事会 実施状況

実施日	会議等名	構成等
R5.1.27(金)	運営幹事会	(幹事長)支部エンジ会社社長※連絡会副委員長 (幹事)NEXCO課長(技術、事務)等、 支部エンジ会社(東・中・西エリアから各1社選出)部長等
R5.2.27(月)	運営連絡会	(委員長・副委員長) 支部エンジ会社(東・中・西エリアから各1社選出)社長等 (委員)NEXCO部長等、支部エンジ会社部長等

《活動方針》

- NEXCOグループの防災対応力の維持・向上のため、技術の伝承と限られた人的資源の活用の観点から、防災エキスパート制度を有効に活用していく。
- 防災エキスパート活動は、基本点検、防災訓練、意見交換会など平時の活動に軸足をおき、常に顔の見える関係の構築に努める。
- こうした関係の構築を前提として、有事の際に機能する防災エキスパート活動を目指す。

令和5年度防災エキスパート活動計画

令和5年度の主な活動計画は次のとおりです。NEXCO、支部、会員の方のご協力をお願いいたします。

◎ エンジ以外のグループ会社への情報提供

- ・グループ会社へ各支部大会への参加を呼びかけ、活動内容を情報共有し、本活動への理解を深めていただく。
- ・NEXCO幹事の方も可能な範囲で支部大会へ参加いただく。

◎ 防災訓練シミュレーションの継続

- ・平時の活動を通じて、顔の見える関係の構築、災害対応の伝承、認知度向上を図る。
- ・緊急時の連絡方法の確保のため、会員のメールアドレスの再登録を依頼する。

◎ 会員専用ウェブサイトによる情報共有と連携強化

本部・支部の取り組み、防災情報、技術情報の発信 など

防災エキスパート会員数と令和4年度活動実績

各事務局支部の会員数と令和4年度活動実績について情報共有します。 各支部におかれましては、今後の活動計画を立案される際に、「防災エキスパート会員専用ページ」や本会報で他支部の活動も確認できますので参考にしていただければと存じます。

防災エキスパート会員数

令和5年5月末時点

支部名 会員数	北海道	東北	関東	新潟	東京・八王子	名古屋・金沢	関西	中国	四国	九州	合計
一般会員	3	39	37	10	41	29	54	13	21	37	284
グループ会員	9	29	12	25	35	22	43	8	48	65	296
計	12	68	49	35	76	51	97	21	69	102	580

一般会員：NEXCOグループ会社以外の会員 / グループ会員：NEXCOグループ会社の会員

令和4年度 防災エキスパート活動実績

令和5年3月時点

事務局支部		令和4年度（2022年度）											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
北海道							訓						
東北		点						出				支	研
関東			点				訓		調				支・講
新潟		点		支・講			訓						
東京・八王子		点	点	点			訓	ボ		支・講			
名古屋・金沢		出・点	出										支・講
関西		調・支・講	調・他	調	調	調	調・研	調・他	調	調・他	調	調	調
中国													
四国			調				訓	他・出	講	講・訓			
九州		点	調	講		調	訓						支・点
活動実績		凡例：【支】支部会議、【講】講演会(支部主催・共催)、【出】出前講座、【点】基本点検(会議等含む)、【訓】防災訓練、【研】講演会等の参加、【調】連絡調整会議等、【災】災害支援、【他】その他【ボ】被災地ボランティア活動支援											
災害出動	0名												
基本点検等	69名	24名	2名	3名			23名	8名		2名			7名
支部会議等	426名	66名	20名	65名	8名	30名	12名	10名	19名	44名	14名	44名	94名
合計	495名	90名	22名	68名	8名	30名	35名	18名	19名	46名	14名	44名	101名



情報共有

令和5年度活動計画

令和5年度も各支部において様々な活動が計画されています。

令和5年度 防災エキスパート活動計画

2023年5月末時点

事務局支部	令和5年度												備考
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
北海道			調	調		訓	講・支		調				
東北	点					訓	出	出			支	研	
関東	点	点			調	訓		支・講				調	
新潟		点	支・講			訓							
東京・八王子	点		他			訓			支				他：現場見学会等
名古屋・金沢	点	講				訓						支・講	
関西	調・支・講・他	調・他	調・他	調	調	訓・調	調・出・他	調	調・他	調	調・他	調	他：アーカイブ取材、記事寄稿等
中国	点	点	訓	研		訓・支			講		支		調：時期未定（年1回）
四国	点	点・調	出		調	訓	支・講・他	出	訓		講	調	他：つなぎの森四国大豊町2023への参加
九州	点	調・講・出			調	訓						支・点	

凡例：【支】支部会議、【講】講演会(支部主催・共催)、【出】出前講座、技術講習会、【点】基本点検(会議等含む)、【訓】防災訓練【研】講演会等の参加、【調】連絡調整会議等、【災】災害支援、【他】その他、【ボ】被災地ボランティア活動支援



情報共有

防災エキスパート会員専用WEBをご活用ください

防災エキスパート活動における情報共有のため「会員専用ページ」をご活用ください。

会員の利用にあたっては、IDとパスワードによる認証(ログイン)が必要となります。未登録の方は、利用マニュアルが各支部にありますので、お問い合わせください。



令和3年度より、下記のとおり防災エキスパート会員以外の被災地ボランティア活動へ支援を行うこととなりましたので、ご案内します。

防災意識・スキル向上のための被災地ボランティア活動の支援制度

- 将来の防災エキスパートとなる高速道路会社社員のあなた、高速道路会社のグループ会社社員のあなたが対象です。
- 旅費交通費・宿泊費等を支援します。

- 【対象者】 高速道路会社の社員、高速道路会社のグループ会社の社員
- 【活動場所】 安全が確保されている活動の場であること
例) 活動の場である被災地にて行政・現地福祉事務所や災害ボランティアセンター等が運営するボランティアセンターが設置運営されていてその団体がボランティアを募集していること
- 【活動区分】 独自で行うもの
支部等が企画したボランティア活動に参加するもの
- 【手続き方法】 ボランティア活動実施に伴う事前手続きについては、高速道路調査会ホームページをご覧ください。
※申込みは、事務局支部が窓口になっております。

求む!

防災エキスパート会員『講演会説明資料』等のご提供に関するお願い

防災エキスパート会員のみなさま、防災エキスパート活動に、ご尽力・ご協力を賜り誠にありがとうございます。

事務局本部では、これまで皆さま方が防災講演会等で説明頂いた資料につきまして、幅広く活用したく、NEXCO社員、グループ社員へ、記録として伝承していきたいと考えています。

つきましては、皆さま方が講演等に使用されました資料につきまして、ご提供頂きたいお願い致します。

頂きました資料に関しましては、会員専用ページに掲示し、全国の会員の他、NEXCO・グループ社員に共有し、防災意識の向上に役立てて参ります。

《資料提出先》

東京都港区南麻布2-11-10 OJビル2階
高速道路調査会

防災エキスパート事務局本部

TEL: 03-6436-2090

FAX: 03-6436-2098

E-mail:

bousaiex@express-highway.or.jp

編集後記

高速道路調査会では、調査研究等の成果を公表し、高速道路に関する知識の普及に広く務めております。

販売図書で各分野の技術史シリーズ「高速道路のトンネル技術史」「高速道路の土工技術史」「高速道路の施設技術史」「高速道路の舗装技術史」を販売しており、「橋梁技術史」も発刊準備中です。

これまでの技術の変遷や最新技術、先人たちがどのようにして課題を解決してきたかを学ぶ参考書となっており、防災エキスパート活動の一つである知見伝承に通じる内容となっています。

機会があれば、調査会に見本を置いてありますのでお手にとっていただき、ご一考いただければ幸いです。

会報を作成するにあたり今回ご執筆いただいた皆様、ならびに最後までお読みいただいた皆様方にお礼申し上げます。

(事務局本部)

- ・災害時の支援活動も、平時の活動と交流があればこそ！！
- ・基本点検、技術伝承、防災訓練等の交流活動から！！